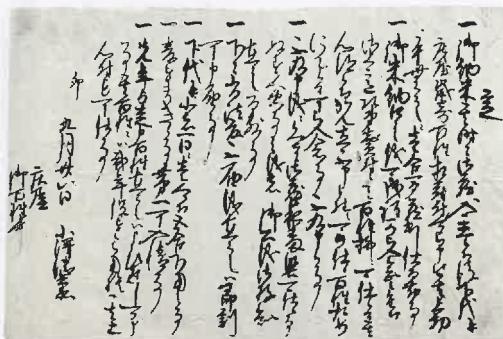
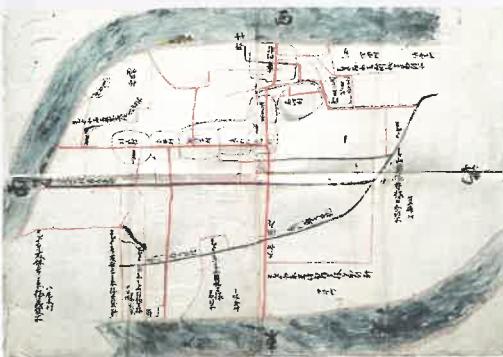


令和6年4月1日より販売開始



小澤休務書状（元和元年）9月28日

大東家文書



八尾八か村用水水井路川絵図 江戸時代  
小川家文書

- 大坂夏の陣（一六一五）からの復興を経て始まる江戸時代の八尾を、多様な視点で洞察する。
- 明治維新（一八六八）からアジア太平洋戦争終結（一九四五）までの激動の近代を、八尾における地方政治の動向や地域経済・交通の発展、教育のあゆみから辿る。
- 戦後の復興から高度経済成長の時代を経て、現在（二〇二四）へと続く八尾の現代史の実像に迫る。

江戸時代から明治・大正・昭和・平成、  
そして令和の現在まで、八尾四百年のあゆみを振り返る!!

# 新版 八尾市史 通史編2

近世～現代



祖塔之記(摂河泉地域文化研究所本) 柏村新田会所の図 文政8年6月



高安郡恩智村・垣内村・教興寺村・黒谷村役場 明治17年～22年



八尾西武百貨店 昭和56年開店

監修

藪田 貫

関西大学名誉教授  
八尾市史 近世部会長

飯塚 一幸

大阪大学大学院教授  
八尾市史 近現代部会長

<p><b>第三部 近世</b></p> <p>第一章 「大坂の陣」と戦後の復興 第一節 「大坂の陣」と八尾 第二節 戦後の復興</p> <p>第二章 近世村落の成立 第一節 土地と年貢 第二節 村役人 第三節 村の内と外</p> <p>第三章 近世の支配体制 第一節 所領構成と広域支配 第二節 幕府領の村 第三節 藩領の村</p> <p>第四章 旧大和川流域の変遷 第一節 河内平野の荒廃と復興 第二節 旗本知行所と公家領の村 第三節 コラム2 八尾庄八ヶ村亀鑑</p> <p>第五章 新田の成立と支配人 第一節 新田と大坂町人・寺院 第二節 新田会所と支配人 第三節 洪水の頻発と付け替え運動 第四節 付け替え工事 コラム3 池守田中家文書</p> <p>第六章 農業と地域社会の様相 第一節 米作りと木綿作 第二節 木綿織 第三節 村方騒動 第四節 組合村と国訴</p> <p>第七章 川と陸の交通 第一節 大和川付け替え後の舟運 第二節 大和川付け替え後の水利環境 第三節 コラム5 大和川付け替え後の舟運 コラム6 藤堂家の位牌・石塔 第三節 江戸時代の旅 第八章 人びとのくらしと信仰 第一節 寺社と庶民信仰 第二節 八尾の街道と巡見使 第三節 八尾の民俗 第九章 幕末の世情 第一節 大塩平八郎の乱と八尾 第二節 地震と海防 第三節 将軍上洛と加助郷 第四節 幕末期の八尾市域 コラム8 幕末期の風刺的落書 【中河内郡誌】と【中河史蹟写真帖】</p>	<p>第一章 「大坂の陣」と戦後の復興 第一節 「大坂の陣」と八尾 第二節 戦後の復興</p> <p>第二章 近世村落の成立 第一節 土地と年貢 第二節 村役人 第三節 村の内と外</p> <p>第三章 近世の支配体制 第一節 所領構成と広域支配 第二節 幕府領の村 第三節 藩領の村</p> <p>第四章 旧大和川流域の変遷 第一節 河内平野の荒廃と復興 第二節 旗本知行所と公家領の村 第三節 コラム2 八尾庄八ヶ村亀鑑</p> <p>第五章 新田の成立と支配人 第一節 新田と大坂町人・寺院 第二節 新田会所と支配人 第三節 洪水の頻発と付け替え運動 第四節 付け替え工事 コラム3 池守田中家文書</p> <p>第六章 農業と地域社会の様相 第一節 米作りと木綿作 第二節 木綿織 第三節 村方騒動 第四節 組合村と国訴</p> <p>第七章 川と陸の交通 第一節 大和川付け替え後の舟運 第二節 大和川付け替え後の水利環境 第三節 コラム5 大和川付け替え後の舟運 コラム6 藤堂家の位牌・石塔 第三節 江戸時代の旅 第八章 人びとのくらしと信仰 第一節 寺社と庶民信仰 第二節 八尾の街道と巡見使 第三節 八尾の民俗 第九章 幕末の世情 第一節 大塩平八郎の乱と八尾 第二節 地震と海防 第三節 将軍上洛と加助郷 第四節 幕末期の八尾市域 コラム8 幕末期の風刺的落書 【中河内郡誌】と【中河史蹟写真帖】</p>
---	--

## 終章

<p><b>第四部 近代</b></p> <p>第一章 維新の変革 第一節 藩から堺県を経て大阪府へ 第二節 新政の実施と地域社会 第三節 義務教育の登場</p> <p>第二章 日清・日露戦争期の八尾 第一節 新町村の成立 第二節 日清・日露戦争前後の地域社会 第三節 コラム1 貴族院議員久保田真吾の沈没船引揚事業 コラム2 幕末の志士・伴林光平の顕彰</p> <p>第三章 明治期の経済 第一節 交通・運輸の発展 第二節 義務教育の普及 第三節 デモクラシーと恐慌の時代 第四節 大正デモクラシーの時代 第五節 昭和恐慌前後の経済 第六節 交通機関の変化 第七節 教育</p>	<p>第一章 現代 第一節 占領から独立へ 第二節 準戦時体制下の地域社会 第三節 第二節 アジア太平洋戦争下の地域社会 第三節 第三節 戦時下の経済と交通 第四節 第四節 戦時体制下の教育 第五節 第五節 総力戦と総動員 第六節 第六節 準戦時体制下の地域社会 第七節 第七節 アジア太平洋戦争下の地域社会 第八節 第八節 戦時下の経済と交通 第九節 第九節 戦時体制下の教育</p>
--	---

コラム5 高度成長後の社会と文化  
コラム6 高度成長後の八尾市政  
コラム7 高度成長後の八尾の経済  
コラム8 現代の交通  
コラム9 高度成長後の社会と文化  
コラム10 高度成長後の八尾まつり  
コラム11 八尾西武の開業にみるセゾングループの

○執筆者  
第三部 近世  
市川秀之 滋賀県立大学教授  
松永友和 徳島県立博物館学芸員  
藤田 貴 関西大学名誉教授  
松本充弘 神戸大学大学院人文学研究科特命助教  
山形隆司 岐阜関ケ原古戦場記念館学芸員  
吉川 潤 大阪市史料調査会調査員

## 第Ⅳ部 現代

○執筆者  
第三部 近世  
市川秀之 滋賀県立大学教授  
松永友和 徳島県立博物館学芸員  
藤田 貴 関西大学名誉教授  
松本充弘 神戸大学大学院人文学研究科特命助教  
山形隆司 岐阜関ケ原古戦場記念館学芸員  
吉川 潤 大阪市史料調査会調査員



## 『新版 八尾市史 通史編2 近世～現代』

●仕様：B5版 口絵カラー16頁／本文766頁／重量1.80kg ●価格：3,000円 ●発行：八尾市

## 販売場所

- 八尾市観光案内所(近鉄八尾駅中央改札階段下)
- 八尾市立歴史民俗資料館(千塚3-180-1)
- 八尾市立しおんじやま古墳学習館(大竹5-143-2)

※郵送を希望される場合は、下記までお問い合わせください。

## お問い合わせ

八尾市魅力創造部 観光・文化財課 文化財係  
〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号

TEL : 072-924-8555 FAX : 072-924-3995 Eメール : k-bunkazai@city.yao.osaka.jp